

# 令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況

令和6年1月16日(火)7時00分時点  
国土交通省 道路局

- 1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、(一社)日本建設業連合会により緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、既に9方向で通路を確保

## 緊急復旧の進捗率

	1/7 7時	現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割 ⇒	約9割
うち国道249号 沿岸部※1	約2割 ⇒	約7割
沿岸部への到達 ※2	6方向 ⇒	9方向

※1: 輪島市門前町～珠洲市役所  
※2: 内陸側・海側の両方

## 孤立地区数の推移

1月5日8時	33地区
1月15日16時	15地区

※内閣府防災資料より  
※孤立地区には支援物資が届けられているとの情報



- ### 凡例
- 国交省対応 (走行可能)
  - 県対応 (走行可能・この他にも作業を実施)
  - 自衛隊対応 (走行可能)
  - × : 被災規模 大
  - × : 被災規模 小～中程度
  - × : 完了 (緊急復旧含む)
  - : 孤立集落 (内閣府防災資料)
  - : 孤立集落 (解消済)
  - ★ : 復旧業者到達地点
  - : 沿岸部への到達点

国道249号緊急復旧完了

# 国道249号における陸海空からの緊急復旧(自衛隊との連携)

令和6年1月16日(火) 7時00時点

国土交通省 道路局

○孤立集落の解消にむけ、**自衛隊と連携し、内陸からにくわえて海側から、くしの歯状の緊急復旧**を順次実施

○あわせて国道249号の被災箇所について、**本復旧にむけた現地調査に今後着手**

✖ : 被災規模 大



自衛隊と連携し、**海側から人員・資機材を搬入**し、陸路から到達困難な箇所では、**緊急復旧を推進**

○1/11より、TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)が**空からヘリで着陸**し、道の駅を拠点として**現地調査を開始**

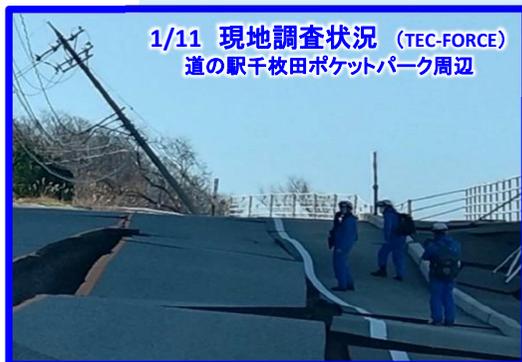
○1/14、自衛隊と連携し、**重機を海側(深見海岸)から搬入**し、**沿岸部の緊急復旧を加速**



TEC-FORCEがヘリで道の駅に着陸し現地調査(1/11)

自衛隊と連携し海側から資機材を搬入(1/14)

緊急復旧の加速



陸側、海側から重機を搬入し、**緊急復旧を加速**



# 令和6年能登半島地震(最大震度7)による土砂災害発生状況

## 土砂災害発生件数

### 80件<sup>※1</sup>

【被害状況】

- 人的被害：死者：23名
- 安否不明者：8名
- 負傷者：3名
- 家屋被害：全壊：17戸
- 半壊：4戸
- 一部損壊：3戸

(いずれも土砂災害による被害と判明した箇所のみ)

石川県	52件
新潟県	16件
富山県	12件

すずし にえまち  
③石川県珠洲市仁江町 【道の駅すず塩田村の西側】



死者：7名  
安否不明者：2名  
負傷者：2名

凡例  
●：土砂災害発生箇所(石川県)



わじまし くまのまち  
①石川県輪島市熊野町



わじまし いちのせまち  
②石川県輪島市市ノ瀬町



安否不明者：3名

ほうすぐんあなみずましかわじま  
④石川県鳳珠郡穴水町川島



死者：16名

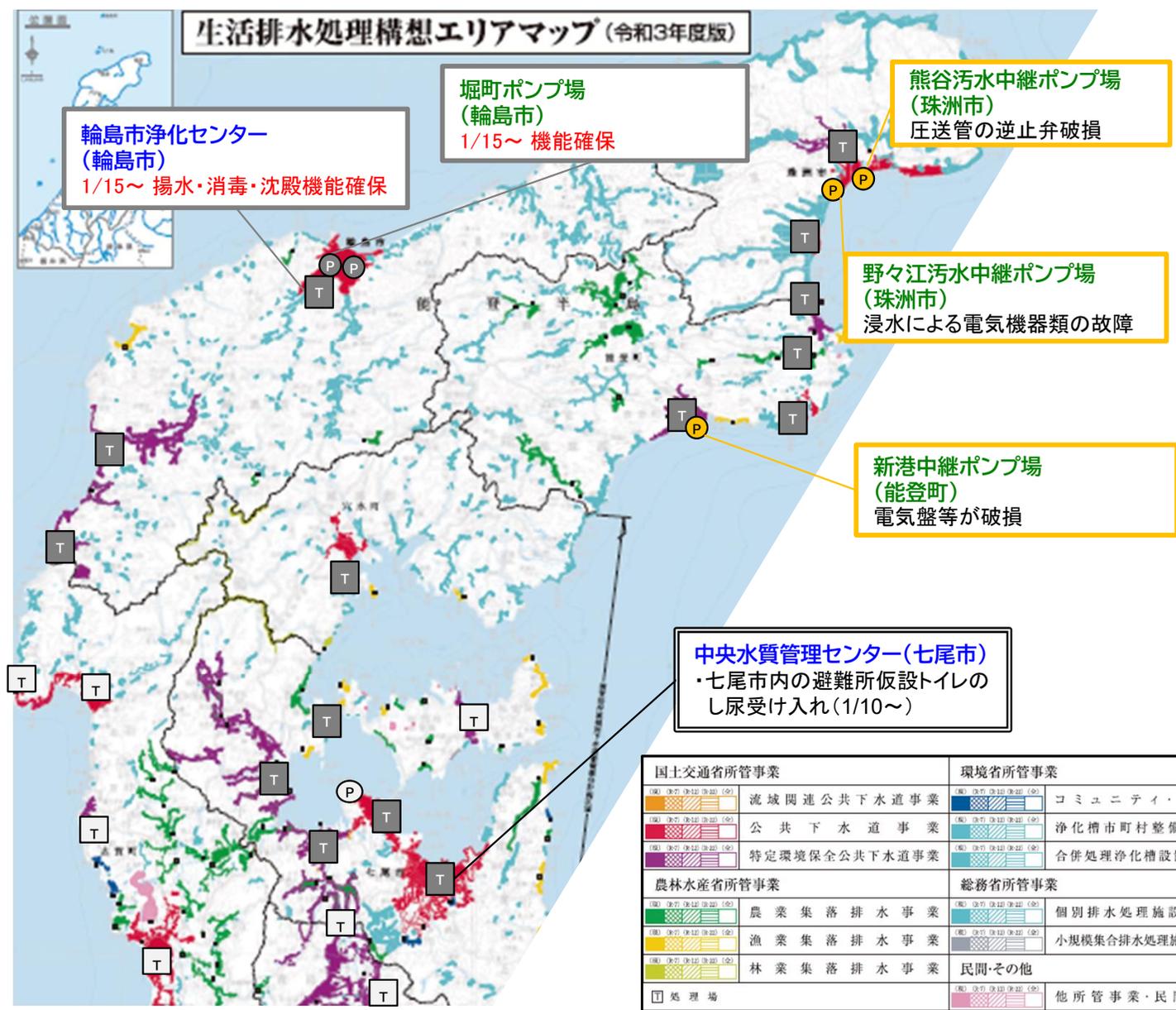


※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

# 令和6年能登半島地震に伴う下水道施設の被害状況(石川県)

令和6年1月16日  
7:10時点  
国土交通省

- 特に被害の大きい能登地方6市町の下水道の復旧については、水道の復旧状況に遅れることがないように、上下水道一体となって早期復旧に向けた支援を実施(1/8～)
- 日本下水道事業団により、稼働停止の下水処理場、ポンプ場の緊急支援を実施(1/7～)



○下水道施設の復旧状況

	1/6	1/15	現在
下水処理場稼働停止	9箇所	⇒ 1箇所	⇒ 0箇所
ポンプ場稼働停止	4箇所	⇒ 4箇所	⇒ 3箇所



▲仮設配管・ポンプを設置した応急対応の状況

国土交通省所管事業		環境省所管事業	
(国) (市) (区) (町) (村)	流域関連公共下水道事業	(国) (市) (区) (町) (村)	コミュニティ・プラント
(国) (市) (区) (町) (村)	公共下水道事業	(国) (市) (区) (町) (村)	浄化槽市町村整備推進事業
(国) (市) (区) (町) (村)	特定環境保全公共下水道事業	(国) (市) (区) (町) (村)	合併処理浄化槽設置整備事業
農林水産省所管事業		総務省所管事業	
(国) (市) (区) (町) (村)	農業集落排水事業	(国) (市) (区) (町) (村)	個別排水処理施設整備事業
(国) (市) (区) (町) (村)	漁業集落排水事業	(国) (市) (区) (町) (村)	小規模集合排水処理施設整備事業
(国) (市) (区) (町) (村)	林業集落排水事業	(国) (市) (区) (町) (村)	民間・その他
(国) (市) (区) (町) (村)	処理場	(国) (市) (区) (町) (村)	他所管事業・民間コミプラ

- 【凡例】
- 下水処理場
- 稼働停止
  - 機能確保済
  - 被害なし
- ポンプ場(汚水)
- 稼働停止
  - 機能確保済
  - 被害なし

# 令和6年能登半島地震に伴う河川・海岸の対応状況等について

令和6年1月16日 6:10時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 国管理河川では、5県（新潟、富山、石川、福井、長野）に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所ですべて堤防沈下、天端クラック等を確認、信濃川（しなのがわ）水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。
- 県管理河川では、6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）が管理する122水系554河川のうち、109水系532河川で点検完了、残る河川は点検実施中。新潟県、富山県、石川県、福井県が管理する59水系95河川で、護岸損傷、天端クラック等を確認、応急対策を順次実施中（石川県は継続中、他は実施済）。石川県管理の河原田川（かわらだがわ）水系河原田川、山田川（やまだがわ）水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川については土砂災害対策と一体となった対策に向けて工事中。山田川については流路確保工事中。
- ダムでは、点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム（石川県管理）で損傷を確認。専門家（国総研）により、計測データや画像等を基にした遠隔指導に加え、1月11日にヘリにて現地入りし技術支援を実施。応急対策は実施済。
- 海岸では、全国の点検対象128海岸のうち、石川県の4海岸を除く124海岸で点検完了。うち石川県管理の宝立正院（ほうりゅうしょういん）、三崎（みさき）、等の7海岸において、堤防護岸の損壊等を確認。応急対策の実施方法について検討中。

河川の被害状況:   国管理   県管理  
 ダムの被害状況:   県管理  
 海岸の被害状況:   県管理

**<石川県管理ダム>**  
 北河内（きたかわち）ダム（能登町）  
 貯水池周辺斜面の小規模崩落等  
 小屋（おや）ダム（珠洲市）  
 ダム天端の舗装に一部クラック、  
 ダム堤体表面被覆の一部変状等

専門家（国総研）により、  
 遠隔指導に加え、ヘリにて  
 現地入りし技術支援を実施

**応急対策済**

**<国管理河川>** **応急対策済**  
 関川（せきかわ）水系関川（新潟県上越市）  
 護岸損傷、管理用通路クラック 3箇所

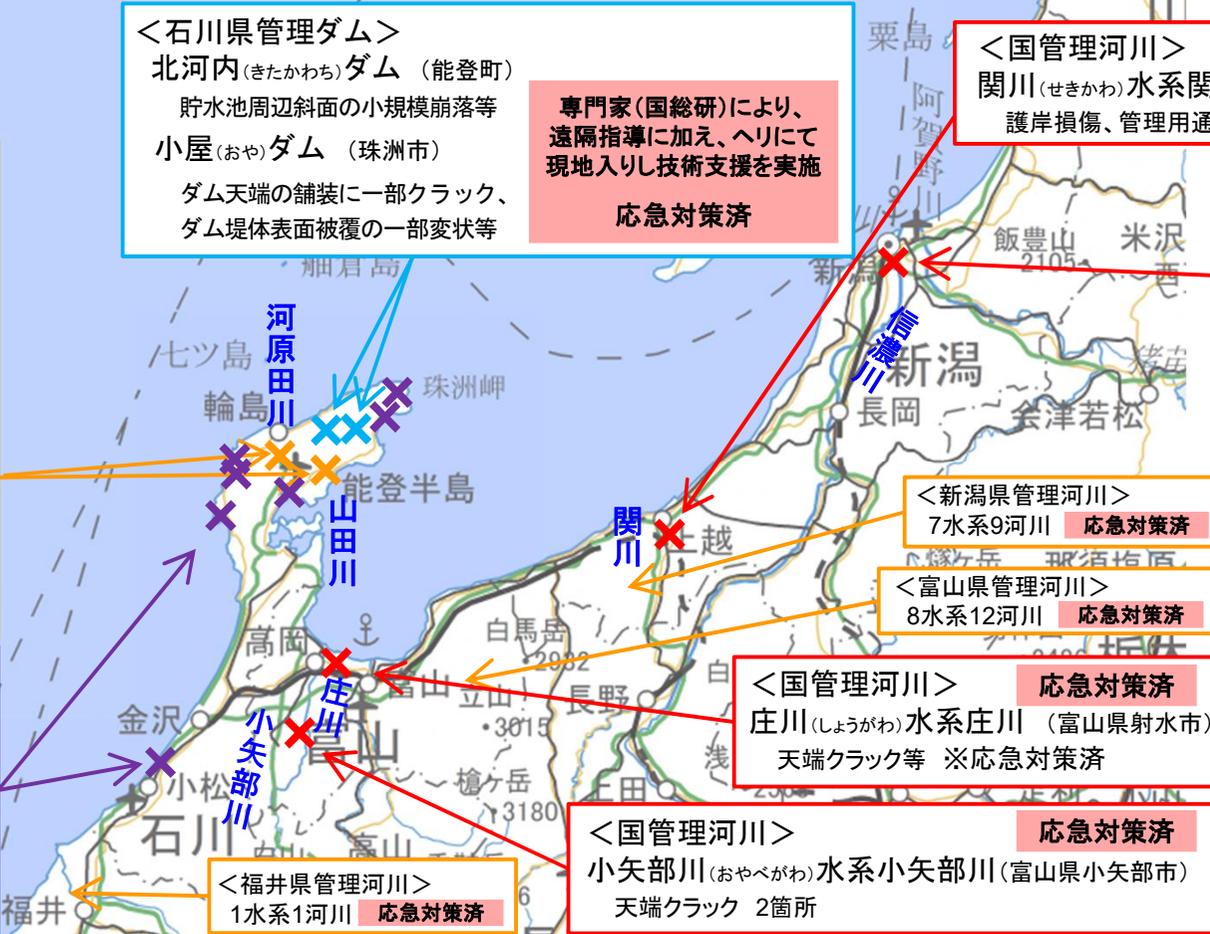
**<石川県管理河川>** **応急対策実施中**  
 43水系73河川



河原田川（かわらだがわ）水系河原田川（輪島市）  
 河道埋塞 **土砂災害対策と一体となった  
 対策に向けて工事中**

山田川（やまだがわ）水系山田川（能登町）  
 河道埋塞 **流路確保工事中**

**<石川県管理海岸>** **応急対策の実施  
 方法を検討中**  
 7海岸 堤防護岸の損壊等



**<新潟県管理河川>** **応急対策済**  
 7水系9河川

**<富山県管理河川>** **応急対策済**  
 8水系12河川

**<国管理河川>** **応急対策済**  
 庄川（しょうがわ）水系庄川（富山県射水市）  
 天端クラック等 ※応急対策済

**<国管理河川>** **応急対策済**  
 小矢部川（おやべがわ）水系小矢部川（富山県小矢部市）  
 天端クラック 2箇所

**<福井県管理河川>** **応急対策済**  
 1水系1河川



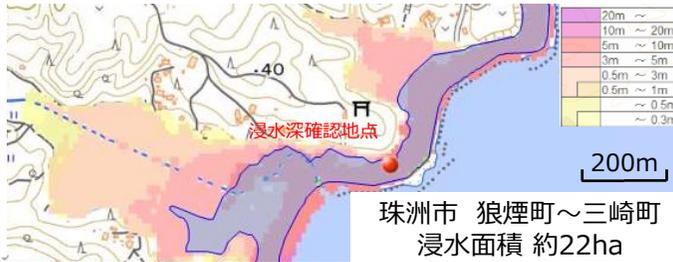
**<国管理河川>** **応急対策済**  
 信濃川（しなのがわ）水系信濃川  
 （新潟県新潟市、長岡市）  
 堤防沈下、天端クラック等 10箇所

- 航空写真の判読や、土木学会海岸工学委員会調査グループの現地調査等を精査した結果、石川県珠洲市、能登町及び志賀町の3市町において、合計約190haの津波による浸水を確認。特に浸水範囲の広い珠洲市における浸水深は、約4mに達したと想定。
- 今回の津波による浸水範囲や浸水深は、津波浸水想定（想定最大規模）と比較して小さい。詳細は今後検証。
- 宝立正院海岸、三崎海岸等の7海岸（石川県管理）において、堤防護岸の損壊等を確認。
- 被災施設の復旧にあたっては、国土交通省・国総研による石川県への技術的支援を強化。

今回の浸水範囲と津波浸水想定と比較 (抜粋)

津波浸水想定 (H29設定)  
 浸水範囲：黄色の範囲まで  
 浸水深：5 - 10m  
 最大津波高：15m  
 到達時間 (最短)：1分未満

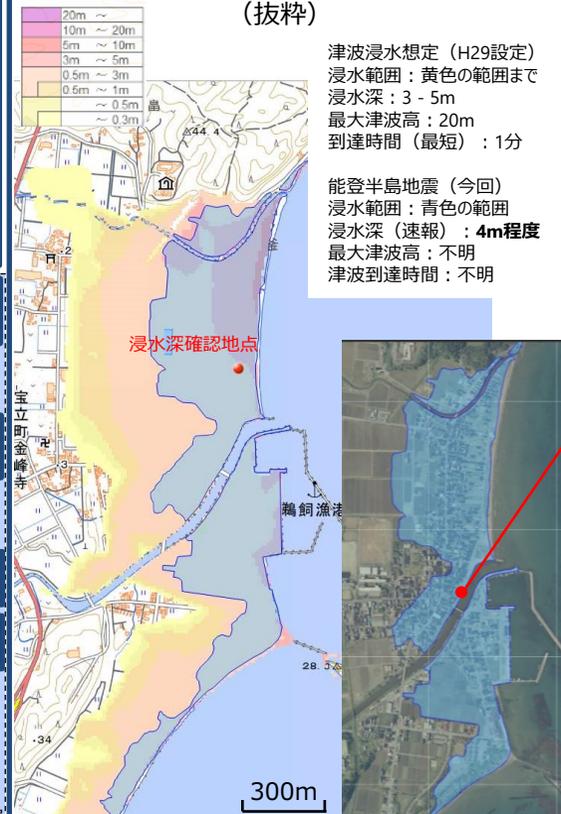
能登半島地震 (今回)  
 浸水範囲：青色の範囲  
 浸水深 (速報)：2m程度  
 最大津波高：不明  
 津波到達時間：不明



今回の浸水範囲と津波浸水想定と比較 (抜粋)

津波浸水想定 (H29設定)  
 浸水範囲：黄色の範囲まで  
 浸水深：3 - 5m  
 最大津波高：20m  
 到達時間 (最短)：1分

能登半島地震 (今回)  
 浸水範囲：青色の範囲  
 浸水深 (速報)：4m程度  
 最大津波高：不明  
 津波到達時間：不明



津波による浸水被害



施設被害



珠洲市 三崎町～宝立町  
 浸水面積 約106ha

## A のと鉄道 七尾線(33.1km)

○運休区間: 七尾駅～穴水駅間(全線) 被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 のと鉄道より発表)

1月9日～10日 現地調査実施(合計12名): TEC-FORCE 5名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE) 7名

## B JR西日本 七尾線(59.5km)

○運休区間: 羽咋駅～和倉温泉駅間 高松駅～羽咋駅間は、1月15日始発より運転再開。

(29.8km)

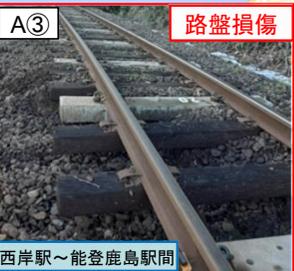
羽咋駅～七尾駅間は、1月22日以降の運転再開を目指して復旧作業中。

七尾駅～和倉温泉駅間は、被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月15日JR西日本より発表)

1月11日 現地調査実施: TEC-FORCE 5名

○1月15日以降に再開した路線  
・JR西日本 七尾線(高松駅～羽咋駅間) (15日始発から)

### 【のと鉄道】



※各写真はのと鉄道提供

### 【JR七尾線】



※B1、B4、B5、B6の写真はJR西日本提供

### TEC-FORCE、RAIL-FORCEによる被災状況調査



# 令和6年能登半島地震 能登空港の状況

## 能登空港



- 発災翌日より、能登空港において救援ヘリコプターの受入れを開始
- 1月9日より、空港運用の支援のためTEC-FORCEを追加派遣し、10日より、空港運用時間を拡大  
※8:00～19:30(11.5時間)→6:00～24:00(18時間)へ
- TEC-FORCE支援の下、石川県による仮復旧工事が完了し、1月12日より自衛隊輸送機が活用
- 引き続き、能登空港の円滑な運用及び民航機の早期運航開始のため、石川県を全力で支援

昨日の離着陸回数:運航なし(天候不良のため)(1/2～の合計:165回) ※固定翼機、ヘリの合計

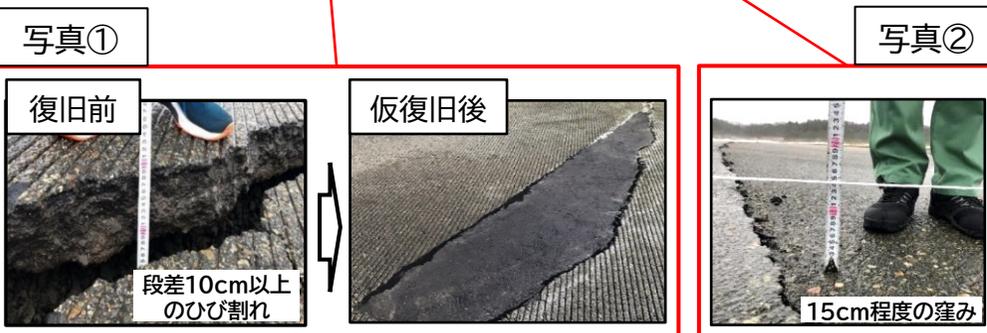
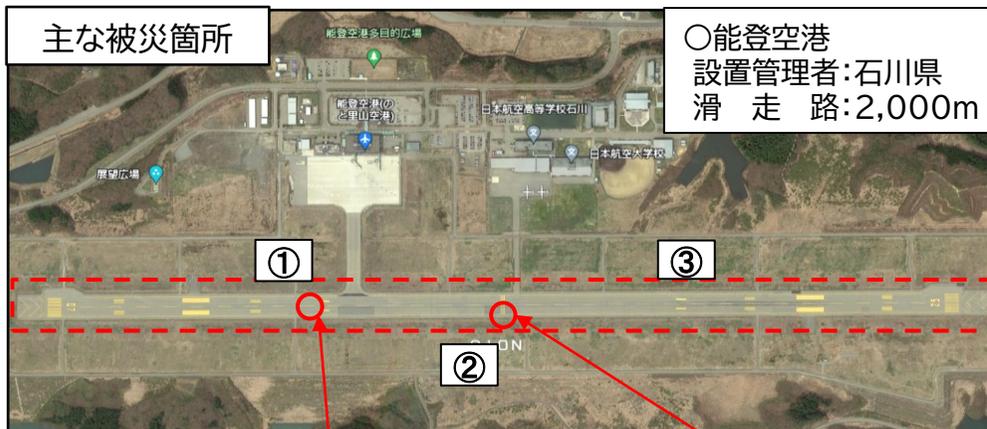
### これまでの経緯

- 1/2 ・国土交通省航空局よりTEC-FORCEを現地に派遣  
・救援ヘリの受入を開始
- 1/3 ・滑走路の被災状況調査
- 1/4 ・石川県発表

- ・仮復旧を施し、自衛隊機の離発着は数日後に可能となる見込み
- ・民航機が運航可能となるのは早くとも3週間後(1/25)以降の見込み

※民航機再開に向けては、さらに滑走路や航空灯火等の修理が必要。  
復旧時期について現在精査中。

- 1/5 ・仮復旧に着手
- 1/6～ ・防衛省による滑走路の確認を実施
- 1/9～ ・空港運用の支援のためTEC-FORCE職員を派遣
- 1/10～ ・空港運用時間を拡大
- 1/12 ・自衛隊輸送機が到着



③舗装のひび割れ個所多数、航空灯火被害

### 1/12 自衛隊輸送機による物資輸送の様子



- 能登地域の港湾では、港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請に基づき、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港の計6港について、港湾施設の一部管理を国土交通省にて実施。
- このうち、支援物資輸送の**中核となる水深4.5m以深の9岸壁が利用可能**であることを確認(条件付きで利用可能なものを含む)。(その他、小型船用の水深4.5m未満の物揚場は、63施設が利用可能(条件付きで利用可能なものを含む))
- 引き続き、海上ルートによる支援物資の円滑な輸送の実現に資するよう、利用条件の解消に向け、**応急復旧作業を進める**。

## 輪島港 (最大水深7.5m、延長220m)

### 1岸壁が利用可能

#### 【主な利用条件と対応状況】

- ・地震による地盤隆起により、岸壁水深が最大1.5m程度浅くなっている。  
→回復には抜本的な復旧工事が必要であり、水深6mの岸壁として運用。
- ・岸壁法線から約13m離れた位置に岸壁法線と平行して最大2mの段差が生じていることから、船舶へのアクセス経路が限られている。  
→当面、5日に応急復旧したアクセス経路で物資を搬送。アクセス経路の拡幅を予定。



RORO船による支援物資輸送(10日)

## 小木港 (最大水深5.0m、延長160m)

### 5岸壁中4岸壁が利用可能

#### 水深4.5m岸壁×4

#### 【主な利用条件と対応状況】

- ・一部の岸壁で、水深が最大1m程度浅くなっている。  
→応急復旧を準備中。

水深5.0m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工事が必要

## 飯田港 (最大水深5.5m、延長100m)

### 2岸壁中1岸壁が利用可能

#### 水深4.5m岸壁

#### 【主な利用条件と対応状況】

- ・航路内に小型船が沈没しているため、航行時に注意が必要。  
→沈没船撤去等の準備中。当面、注意して航行してもらうことで対応。
- ・アクセス経路にうねりが生じている。  
→応急復旧を実施し、作業完了(9日)。

水深5.5m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工事が必要



民間2船による支援物資輸送(11日)

## 七尾港 (最大水深11.0m、延長260m)

### 8岸壁中3岸壁が利用可能

#### 水深11.0m岸壁

#### 【主な利用条件と対応状況】

- ・液状化の影響により、車両が走行できないアクセス経路がある。  
→応急復旧を実施し、車両の走行経路を確保(12日)。

#### 水深9.0m岸壁、水深7.5m岸壁

#### 【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない。(一般車両は走行可能)  
→回復には抜本的な復旧工事が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用。

その他の5岸壁は利用不可

→抜本的な復旧工事が必要

海翔丸の支援物資の積卸し(5日;水深7.5m岸壁)



## 穴水港 (最大水深4.0m、延長187m)

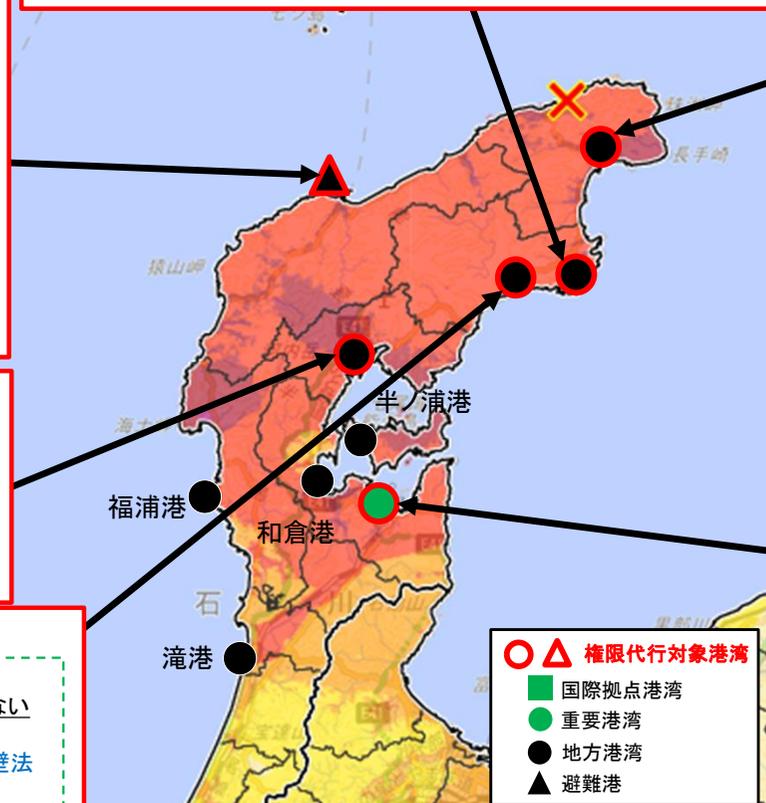
#### 【主な利用条件と対応状況】

- ・強い陸風が吹くときは離岸が必要となる場合がある。  
→回復には抜本的な復旧工事が必要。当面、注意して運用。

## 宇出津港 (最大水深4.0m、延長205m)

#### 【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができないものがある。(一般車両は走行可能)  
→回復には抜本的な復旧工事が必要。当面、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用。



○△ 権限代行対象港湾

- 国際拠点港湾
- 重要港湾
- 地方港湾
- ▲ 避難港

# 国土交通省職員の対応状況

総数【536名】(のべ6,627人日)

リエゾン 55名  
JETT 7名  
被災状況調査班等 474名

本省	31名
北海道開発局	16名
東北地整	64名
関東地整	68名
北陸地整	76名
中部地整	51名
近畿地整	64名
中国地整	51名
四国地整	22名
九州地整	42名
東北運輸局	2名
関東運輸局	1名
北陸信越運輸局	14名
中部運輸局	4名
近畿運輸局	1名
中国運輸局	2名
東京航空局	3名
大阪航空局	6名
気象庁	7名
国土地理院	3名
国総研	5名
港空研	3名

石川県内(能登半島)【3名】  
被災状況調査班(CAR-SAT) 3名



現地対策本部【25名】  
本部長(リエゾン併任) 20名  
本部長(JETT併任) 5名

石川県庁【23名】  
リエゾン(北陸地整/国土地理院) 5名  
JETT 2名  
高度技術指導班(住宅) 1名  
" (都市) 2名  
" (上水) 2名  
" (下水) 6名  
" (河川) 1名  
被災状況調査班(砂防) 4名



輪島市【180名】  
リエゾン(北陸地整/北陸・近畿運輸) 6名  
先遣班 5名  
応急対策班(道路啓開) 6名  
現地支援班(対策本部車) 8名  
被災状況調査班(道路) 61名  
" (砂防) 56名  
" (河川) 6名  
" (応急危険度判定) 3名  
高度技術指導班(上水) 3名  
" (空港) 10名  
災害記録班 2名  
運用支援班(空港) 4名  
電源支援班 8名

志賀町【28名】  
リエゾン(北陸地整/北陸運輸) 2名  
被災状況調査班(道路) 20名  
" (河川) 4名  
高度技術指導班(上水) 2名



輪島市



珠洲市

能登町【58名】

リエゾン(北陸地整/北陸運輸) 3名  
被災状況調査班(道路) 4名  
" (河川) 4名  
" (砂防) 28名  
" (応急危険度判定) 6名  
給水支援班 6名  
現地支援班(対策本部車) 3名  
高度技術指導班(上水) 4名

リエゾン(能登町)



穴水町【41名】

リエゾン(北陸地整/北陸運輸) 5名  
被災状況調査班(道路) 24名  
" (応急危険度判定) 6名  
" (河川) 4名  
高度技術指導班(上水) 2名



七尾市【14名】

リエゾン(北陸地整/北陸運輸) 2名  
被災状況調査班(道路) 4名  
" (港湾) 4名  
被災地支援班(港湾) 2名  
高度技術指導班(上水) 2名



宝達志水町

氷見市

富山市

富山市【17名】

給水支援班 12名  
災害記録班 2名  
現地支援班(本部車) 3名

北陸地方整備局【28名】

先遣班 25名  
総合指令班 2名  
情報通信班 1名

金沢市【14名】

リエゾン(中部・関東・中国運輸) 4名  
応急対策班(照明) 2名  
被災状況調査班(道路) 3名  
" (港湾) 2名  
給水支援班 2名  
高度技術指導班(道路) 1名

内灘町

金沢市

# 国土交通省の資機材の活動状況 (能登半島)

総数 (能登以外の派遣、派遣移動中も含む)  
 災害対策機械等 141台  
 (うち、散水車 (給水機能付) 20台稼働中)  
 (うち、照明車 (電源確保) 4台稼働中)

輪島市  
 照明車 【1/2~ (稼働中)】  
 対策本部車 【1/6~ (稼働中)】  
 待機支援車 【1/6~ (稼働中)】  
 Ku-sat 【1/4~ (活動中)】  
 照明車 (電源確保) 【1/7~ (稼働中)】 3台  
 海保回転翼機 (物資・人員輸送) 【1/2, 1/5】

輪島港  
 巡視船 (人員・物資輸送、給水支援) 【1/2~1/11】

珠洲市  
 散水車 (給水機能付) 【1/5~ (稼働中)】 11台  
 照明車 【1/3~ (稼働中)】  
 対策本部車 【1/5~ (稼働中)】  
 待機支援車 【1/6~ (稼働中)】  
 衛星通信車 【1/11~ (活動中)】  
 Ku-sat 【1/7~ (活動中)】  
 照明車 (電源確保) 【1/6~ (稼働中)】 1台  
 海保回転翼機 (物資輸送) 【1/2】  
 測量船 (飯田港 港内調査) 【1/5】  
 測量船 (蛸島漁港 港内調査) 【1/6】

CAR-SAT 輪島市稲舟町



照明車 輪島市 夜間照明



災害対策本部車 輪島市井町



衛星通信車 穴水町役場



海翔丸 (物資支援) 七尾港



志賀町  
 散水車 (給水機能付) 【1/6~ (稼働中)】 1台

能登町  
 散水車 (給水機能付) 【1/6~ (稼働中)】 1台  
 Ku-sat 【1/4~ (活動中)】  
 対策本部車 【1/12~ (稼働中)】  
 待機支援車 【1/10~ (稼働中)】  
 測量船 (小木港・宇出津港 港内調査) 【1/7】

穴水町  
 照明車 【1/4~1/7, 1/10~ (稼働中)】  
 Ku-sat 【1/5~ (活動中)】

能登島  
 巡視艇 (人員輸送) 【1/2】

七尾港  
 大型浚渫兼油回収船「海翔丸」 九州地整 1隻 【1/5】  
 巡視船 (物資輸送、給水支援) 【1/3~】

七尾市  
 衛星通信車 【1/2~ (待機中)】  
 Ku-sat 【1/5~ (活動中)】

照明車 (電源支援) 珠洲市避難所



散水車 (給水機能付) (稼働中) 能登町ほか



中能登町  
 散水車 (給水機能付) 【1/3~ (待機中)】 1台

羽咋市  
 照明車 【1/4~ (稼働中)】

氷見市  
 散水車 (給水機能付) 【1/2~ (稼働中)】 1台

上越市  
 照明車 【1/3~ (稼働中)】  
 バックホウ 【1/4~ (待機中)】

散水車 (入浴施設への給水支援) 七尾市



散水車 (給水機能付) 中能登町ほか



ほくりく 待機中 (富山空港)



金沢港

富山市  
 散水車 (給水機能付) 【1/13~ (待機中)】 4台  
 バックホウ 【1/3~ (待機中)】  
 照明車 【1/5~ (待機中)】  
 Ku-sat可搬 【1/5~ (待機中)】  
 衛星通信車 【1/10~ (待機中)】

# 照明車を活用した電源支援について

- 停電が長期にわたる避難所等へ、1/6より国土交通省の**照明車を電源車として派遣し、被災者へ電源支援。**
- 珠洲市(日本小学校(1/6~7)、第三長寿園(1/7~)、勤労者センター(1/8~14)、粟津ビニールハウス(1/9~11)、元気の湯跡(1/9~15))、輪島市(港公民館(1/7~)、道下集会所(1/8~)、浦上公民館(1/8~12)、劔地原子力防護施設(1/8~))で実施中。
- 今後も、輪島市、珠洲市において電源支援を拡大していく予定。



避難所への給電接続作業  
(輪島市 劔地、浦上、道下、港)



電源車が配置され応急対応が完了  
(輪島市 浦上公民館)



電源供給により停電を解消  
(輪島市 道下集会所)

※中部地整の災害協定に基づき、愛知・岐阜電業協会から電気工事士を派遣

- 電源支援箇所数(1/15現在)
- 輪島市: 4箇所(内1箇所終了)
- 珠洲市: 5箇所(内4箇所終了)

※活動中4箇所  
(うち、施設給電3箇所)



電源供給支援位置図

● 活動中  
● 活動終了



照明車への給油作業  
(輪島市 劔地原子力防護施設ほか)

※中部地整の災害協定に基づき、ナガイ(株)・土屋建設からローリーを派遣



電源供給により停電を解消  
(輪島市 港公民館)